



発行所 磐城日日新聞社
福島縣磐城市湊廻51
電話 387番
編集兼 比佐不二夫
発行人



崩壊の底引漁業起死回生の策に

南 出漁協同組合を設立して進出

本縣三大漁業の底曳旋網、さんま、の大宗である機船底曳漁業は現在五〇トン三〇トンの漁船百六十隻を擁して崩壊寸前であるが、先きのプロトナム進出などがこの程ようやく軌道に乗り更にフリーピン、タイなどの南方沿岸漁業も有望の見通しから廣く縣下の底曳

等と呼ばれて「南方出漁協同組合」を設立し、起死回生の策を講じようと坂本長太郎、三代義勝氏ら二十五氏が發起人となり、来る三〇日小名浜水産試験場で設立總會を開くことになった。

小名浜公民館に文相賞

二九年度優良公民館と決定

磐城市小名浜公民館(館長 民館として文部大臣賞を受賞したが、福島県では二十五年高木長年氏)は今月初旬県庁に決定した旨通知が柳津が優良公民館として教育委員会から廿九年度優良公民館として表彰を受けて以来、二六良公民館として文部省に推薦されたこと喜んで居る。年は石神村が準優良、二七二六良公民館として文部省で二五年優良公民館と連続して表彰され今年も小名浜公民館は湧きかえつており二八日二百萬圓を示した。朝県教委から電話連絡で全公民館、準優良公民館を全表彰され今年も小名浜公民館は湧きかえつており二八日二百萬圓を示した。朝県教委から電話連絡で全公民館、準優良公民館を全表彰され今年も小名浜公民館は湧きかえつており二八日二百萬圓を示した。

三日で二千三百万

サンマ既に小名浜沖へ

連続の大臣賞に輝く事になった。果では二九年度として小名浜が三つである。

中国貿易は磐城にも肝要

張 市の積極的な援助を要する

理論上は交戦状態の続いた先入観をもつて、共産主義を恐れて来た、その間和改革と云う様な嫌な言ひを、葉ではなく、私達はそれを磐城市に限らず、國家の産業として、魚業が、ウエトナムに進出しようとする気配にあると、きこれらの輸出産業面の開拓は市の産業開拓であり、効力を今日に求める事なく、努力する事は業者個人の力をもつてもなく、市がこれを積極化して行く事の必要性を感じます。

産婦人科を新設

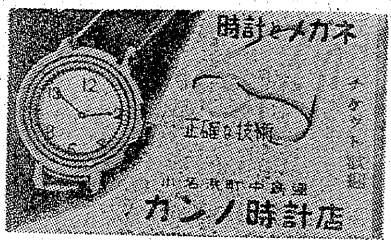
常磐診療所で施設を充實

常磐市立診療所はかつて外改築工費百万圓の予算を計科、内科のみで細々とした上として、現診療所の内部改造に來月上旬頃着手す

潮流次第でイワシも

戦前なみの豊漁再現か

今月上旬頃から仙台灣にイワシの群が見られ、本県氣味を思はせて居る。係では磐城市内から六ヶ統このイワシ群は日本海からの揚繰船が出漁、石巻釜釜廻り込んだ一部の群のため永続的な望はかけられないとされて居るが、この群の尾が切れず現在同灣の水溫がイワシの適水溫の二二、三度を越して一四度から十七度をしめしているため、寒流の南下が有れば戦前の大漁が再現するとされて居り、二十七日から風速十五米の十八号台風により荒れ出した漁場は目下船舶が入らずに居る、この時化明けに水温低下の望みがかげられて居る。



磐城市産業文化祭に幹事會

磐城市第一回産業文化祭は十一月下旬開行を予定して居るが、市農政課では開催の日取り場所、様式などを決定するため、三十一日第一回幹事會を開く予定である。

新高のパンとケーキ

常磐市 電二三六

開業五周年記念 展示大賣出し

期間 十一月二十八日より一週間
十一月十日まで

自轉車の部 エンジンの部
高級車 マグネット号 アンコール号
大衆車 天城号 ベンリール号
運搬車 サンベル号 トヨモーター



高橋輪業商會

磐城市上横町(消防署通り)
電話 789番

今秋東京流行のトップを行くふたば織のネクタイ講習
ふたば織大講習會
ネクタイ帯止講習料無料
日時 10月30日(土) 11月1日(日)
材料 毛糸ネクタイ機は会場に備えてあります
ネクタイ機(補助機共) 五五〇圓

こころ小名浜公民館
午前九時より午後九時まで左記で編物講習して居ります
磐城市上町五六 中野齒科隣
公認 全国編物講師協會井上富美子先生
小名浜井上編物教室

